

地球温暖化のこと

地球温暖化ってなに？

地球の表面は二酸化炭素(CO₂)※¹やメタン※²、水蒸気などの温室効果ガスに覆われています。この温室効果ガスが太陽からの熱を吸収して、地球は生物の生息・生育にとって適度な温度に保たれています。

しかし、1750年代頃から始まった産業革命※³の後、石炭や石油などを多く使うようになり、二酸化炭素(CO₂)などの温室効果ガスが大量に空気中に出されています。

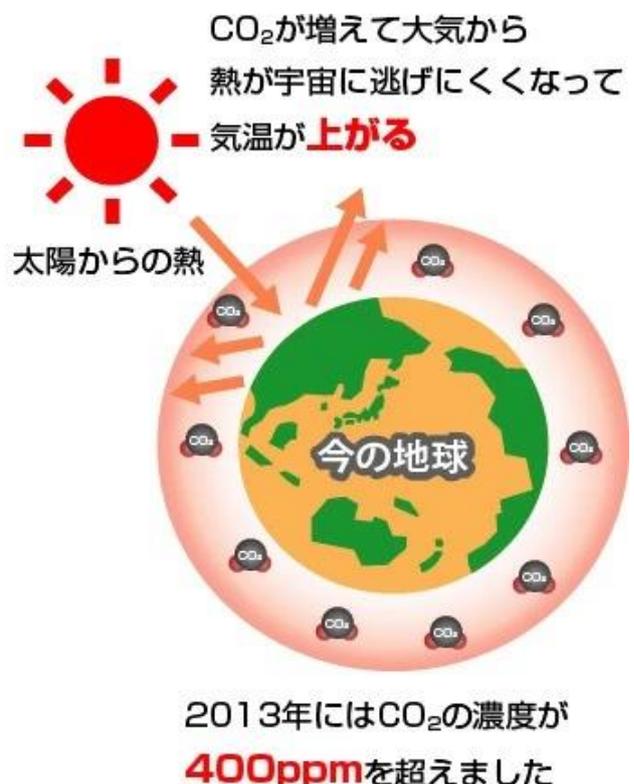
その結果、温室効果ガスが熱をより多く吸収し、地球全体の気温が上がり始めています。これが地球温暖化です。

日本では、温室効果ガスのおよそ90%が二酸化炭素(CO₂)です。

※¹ 二酸化炭素(CO₂)…物を燃やす時に発生します。

※² メタン…動物のゲップ、ふんから発生します。

※³ 産業革命…イギリスから始まった、世界的な工業化(大きな工場での機械による物づくり)



【イラスト：全国地球温暖化防止活動推進センター ウェブサイト】

地球温暖化のこと

地球温暖化で何が起きるの？

地球温暖化によって、いろいろな場所で、気温が上がったり、大雨がたくさん降ったり、農作物に影響が出たりと、気候の変化（気候変動）が起きています。



そのため、地球温暖化の原因である温室効果ガスを減らす緩和と、気候の変化の影響を少なくするために生活などを変えていく適応の2つを行う必要があります。

緩和とは？ 2つの気候変動対策 原因を少なく

緩和策の例

- 節電・省エネ (Power saving)
- エコカーの普及 (普及 of eco-cars)
- 再生可能エネルギーの活用 (Use of renewable energy)
- 森林を増やす (Increase forests)
- 温室効果ガスを減らす (Reduce greenhouse gases)

適応とは？ 影響に備える

適応策の例

- 感染症予防のため虫刺されに注意 (Prevention of insect bites)
- 熱中症予防 (Prevention of heatstroke)
- 災害に備える (Preparation for disasters)
- 水利用の工夫 (Water-saving techniques)
- 高温でも育つ農作物の品種開発や栽培 (Development and cultivation of crop varieties that grow in high temperatures)

気候変動による人間社会や自然への影響を回避するためには、温室効果ガスの排出を削減し、気候変動を極力抑制すること（緩和）が重要です。

緩和を最大限実施しても避けられない気候変動の影響に対しては、その被害を軽減し、よりよい生活ができるようにしていくこと（適応）が重要です。

【イラスト：気候変動適応情報プラットフォーム】

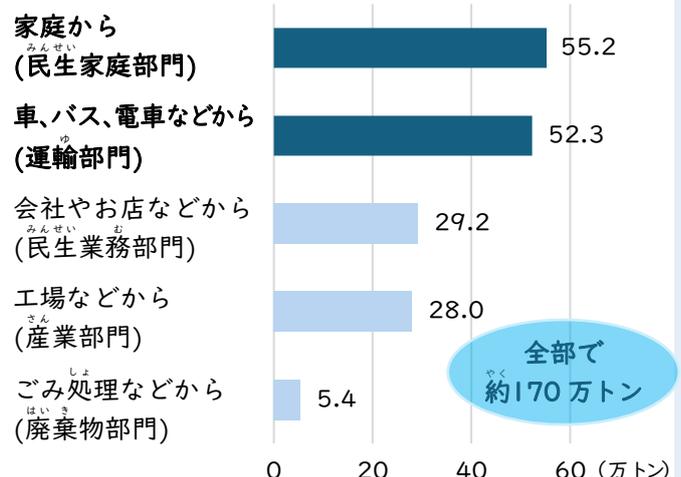
二酸化炭素の量

岐阜市から出る二酸化炭素(CO₂)の量は、岐阜市内の家、工場、会社やお店、市内を走っている車やバス、電車などが使う電気、ガス、ガソリンなどから計算しています。

岐阜市では、家庭での電気・ガスなどの使用と、車・バス・電車などの乗り物の利用の2つから、多くの二酸化炭素(CO₂)が出ています。

岐阜市の二酸化炭素の量（令和3年度）

岐阜市から出る二酸化炭素の量は、様々な統計書の数値から計算しているため、令和3年度が最新です。



地球温暖化のこと

二酸化炭素の量を減らす取り組み

二酸化炭素(CO₂)の量を減らすために私たちができることは、普段の生活の中で電気やガス、ガソリンなどを少しでも使わないようにすることです。

岐阜市では、二酸化炭素(CO₂)の量を減らす取り組みとして、メガソーラー発電やぎふ減CO₂ポイント制度を行っています。

メガソーラー発電「DREAM Solarぎふ」

埋め立てが終了した(ごみを燃やした)灰の埋め立て地(北野阿原一般廃棄物最終処分場)に完成したDREAM Solarぎふ(大規模太陽光発電)は、約40,500㎡の敷地面積に9,720枚の太陽光パネルを設置しています。



令和5年度の発電量は約263万kWhで、一般家庭約630世帯の年間使用量と同じくらいの電力量を発電します。この太陽光発電により、二酸化炭素(CO₂)の量を年間約1,181トン減らすことができます。

また、DREAM Solarぎふの敷地内には、見学通路の他、発電量を示す表示板や展望台があり、それを利用して、自然エネルギーについての環境学習も行われています。



ぎふ減CO₂ポイント制度

家庭から出る二酸化炭素(CO₂)を減らすとポイントが貯まり、ポイントを集めて応募すると、抽選で「もっと省エネ啓発品」が当たる岐阜市ならではの取り組みです。

家で電気・ガス・水道の使用量を節約したり、環境学習(出前講座など)を受講したりすることでポイントが貯まります。

令和5年度は、1,893人が参加して、141.9トンの二酸化炭素(CO₂)を減らすことができました。



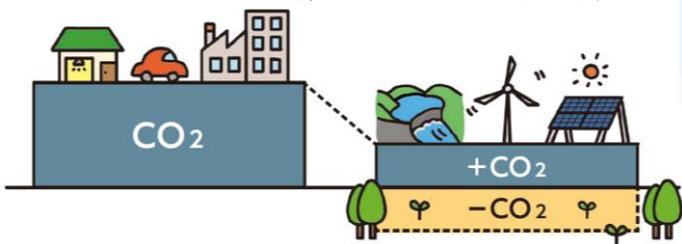
地球温暖化のこと

ゼロカーボンシティを目指して

岐阜市は、2050年までに温室効果ガスを減らし、ゼロカーボン※とすることを目指しています。

岐阜市では、家庭から出る二酸化炭素(CO₂)の割合が高いので、市民一人ひとりが環境にやさしい行動をすることが大切です。

※ゼロカーボン…温室効果ガスが出る量から森林などが吸収する量を引いてゼロにすること。



令和5年度の取り組み

岐阜市ゼロカーボンシティを宣言

動画「2050岐阜市をゼロカーボンシティに」をつくり、脱炭素に係する情報を集めた岐阜市脱炭素ポータルサイトをインターネット上につくり、地球温暖化について考えてもらい、地球にやさしい行動を呼びかけています。



動画イメージ

令和6年度の取り組み

岐阜市ゼロカーボンフェスタを開催

ゼロカーボンについて知り、地球温暖化の問題に取り組むきっかけとして、イベントを開催しました。

電気自動車の展示や水素エネルギーの体験、クイズラリーなどを行い、たくさんの参加者が楽しみながら学びました。



屋外の展示



水素エネルギーで遊ぶ体験

**ゼロカーボンの「みらい」をめざして
みんなで「いま」からとりくむ
脱炭素都市ぎふ**

- とくべつに意識しなくても環境にやさしく暮らすことができるまち
- まちで使う電力のほとんどが再生可能エネルギーでつくられるまち
- 自家用車に頼らなくても誰もが便利に移動できるまち
- どんなときでも安定して生産活動、経済活動ができるまち
- 大雨も、濁水もしなやかに対応し、災害への不安なく暮らせるまち
- 岐阜ならではの雰囲気がいつまでも残るまち

将来都市像と「みらい」のまちのイメージ

【岐阜市地球温暖化対策実行計画】